

単独支援給付金・事業計画書(単独病床機能再編計画)

1 申請者の情報		申請年月日	令和5年12月6日
フリガナ	イリヨウホウジンシャダンアケボノカイ ササキゲカビヨウイン	住所・所在地	〒 753 -0076 山口県山口市泉都町9-13
医療機関の名称	医療法人社団曙会 佐々木外科病院		

2 病床削減の概要(予定含む)

<許可病床数>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計※2
1	①平成30年度病床機能報告における許可病床数	0	54	0	0	0	54	54
	②平成30年度報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更があった場合はその許可病床数 ※1						0	0

※1 令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更がない場合は「1②」は記載不要(令和2年4月1日時点での変更は除く)

※2 対象3区分=高度急性期、急性期、慢性期(以下同様)

<稼働病床数>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
2	①平成30年度病床機能報告における稼働病床数	0	54	0	0	0	54	54
	②平成30年度報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更があった場合はその稼働病床数 ※3						0	0

※3 令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更がない場合(「1②」が記載不要となる場合)は「2②」は記載不要(令和2年4月1日時点での変更は除く)

<病床削減後の許可病床数>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
3	病床削減後の許可病床数	0	0	0	0		0	0

<他の医療機関との病床融通>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	対象3区分の合計
4	他の医療機関との病床融通数 ※4	0	0	0	0	0

※4 病院統合や地域医療連携推進法人の病床融通制度等を活用し、他の病院等へ病床が移転しようとする場合に記載すること。また、「(参考)病床移転にかかる概要」に関連する病院等の病床数を記載すること。

<対象3区分から回復期又は介護医療院へ転換した病床数>

		回復期	介護医療院	合計
5	削減病床のうち、回復期又は介護医療院へ転換した病床数	0	0	0

<年間在棟患者延べ数(人)>

		高度急性期	急性期	慢性期	合計
6	①平成30年度病床機能報告における対象3区分の病棟の年間在棟患者延べ数(人) ※5	0	14,732	0	14,732
	②令和2年4月1日時点年間在棟患者延べ数(人) ※6・7				0

※5 対象3区分の病棟に係る平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)の(48)欄の数値を計上すること。なお、平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)において、「過去1年間の間に病棟の再編・見直しあり」と報告した病棟の年間在棟患者延べ数については、以下の式により補正して計上すること。

○ 補正後の年間在棟患者延べ数=年間在棟患者延べ数((48)欄に記載された数値)×12÷報告可能な対象期間(月単位)

(注) 報告可能な対象期間(月単位)は、平成30年度病床機能報告で報告した月数とすること。

例) 報告可能な対象期間を「平成29年7月1日～平成29年12月末日」とした場合 ⇒ 報告可能な対象期間(月単位)=6

※6 令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更がない場合(「1②」が記載不要となる場合)は「6②」は記載不要

(令和2年4月1日時点での変更は除く)

※7 令和元年度病床機能報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更がない場合は令和元年度病床機能報告の数値を計上すること。変更がある場合は、変更後令和2年4月1日までの在棟患者延べ数を※5を参考に算定して計上すること。

3 病棟別内訳(予定含む)

【変更前の状況(R2.4.1まで)】

変更前	病棟別内訳 (病床機能報告から転記)	病棟の名称	算定する入院基本料 ・特定入院料	病床機能	許可病床数	稼働病床数
		2階病棟	急性期一般入院料1	急性期	54床	54床
計					54床	54床

※ 平成30年度の病床機能報告を転記することを原則とするが、平成30年度の報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数等に変更がある場合は変更後の病床数等を記載すること。



【令和6年度】

R6 年度	病棟別内訳	病棟の名称	算定する入院基本料 ・特定入院料	病床機能	許可病床数	変更(予定)時期 ※変更がある場合
		2階病棟	急性期一般入院料1	急性期	0床	R6年4月
						年 月
計					0床	



【令和7年度以降】(変更がない場合や計画が未定の場合は、「以後変更なし」「未定」等と記載のこと)

R7 年度	病棟別内訳	病棟の名称	算定する入院基本料 ・特定入院料	病床機能	許可病床数	変更(予定)時期 ※変更がある場合
		以降変更なし				年 月
						年 月
						年 月
計					床	

※病棟別内訳の数が不足する場合は適宜追加すること。

※計画完了時には「休棟等」がすべて削除され、存在しない状態となっていること。

病床削減が地域医療構想の実現に資するものであることの説明資料

対象医療機関名 佐々木外科病院

1 地域の状況		
地域の現状と課題	<p>山口・防府医療圏の病床数は、2022年度病床機能報告では3,503床、2025年必要病床数は3,008床である。このうち急性期は、2022年度1,296床、2025年必要病床数974床であり、必要病床数を上回り過剰な状況にある。</p> <p>今後、山口・防府医療圏においては人口減少に伴い医療需要の減少が見込まれるため、急性期機能の集約化、役割分担等が求められている。</p>	
2 自施設の状況		
自施設の現状(変更前)	<p>一次救急医療機関として救急患者の外科的内科的な緊急入院、外科手術(乳癌や大腸癌、鼠径ヘルニア、痔核の待機手術、虫垂炎などの緊急手術)や化学療法、整形外科手術(主に大腿骨骨折)、内科入院対応をしてきた。</p> <p>また、サブアキュートとして開放型病床6床(主に白内障や痔核の術後)、及び地域包括ケア病床20床(主に脊椎圧迫骨折)において在宅復帰を推進してきた。</p>	
病床数の見直し	見直しの考え方	<p>今後の人口減少による医療需要の減少や働き手の減少、他の入院医療機関との役割分担を踏まえ、予防医療の充実化に向け特定検診・保健指導の効果的な実施を強化した無床診療所への見直しを行う。</p> <p>当院の病棟廃止後においても、内科、外科を中心とした外来診療機能は維持し、外来対応可能な一次救急には引き続き対応していく方針である。</p> <p>当院で担ってきた外科手術、化学療法、整形外科手術、内科入院対応(入院が必要な救急患者の受入を含む)については、近隣の山口県済生会山口総合病院、総合病院山口赤十字病院においても十分に提供されている。</p> <p>また、当医療圏においてまだ不足している回復期機能の地域包括ケア病床の閉鎖については、訪問診療などの在宅医療で可能な範囲対応していきたい。</p>
	対象の病棟・病床の概要	<p>急性期病棟54床(急性期一般入院料1)、そのうち、開放型病床6床、地域包括ケア病床20床(地域包括ケア入院医療管理料1)を含む。</p>
	入院患者への対応	<p>長期入院患者は少ないため、予定入院及び救急入院を調整し、徐々に入院患者を減らしていく。長期療養を要し退院が難しい場合には他の医療機関への転院や在宅への移行により調整する。</p>
3 病床削減が地域医療構想の実現に資するものである理由		
理由	<p>当医療圏では、人口減少による医療需要の減少が見込まれ、急性期病床を含む総病床数が過剰と試算されており、病床削減が地域医療構想の実現に資するものと考えている。</p>	

【参考】対象区分別の削減(計画)病床数

対象区分	R5	変更時期	R6	変更時期	R7	変更時期	計
	高度急性期						
急性期			△ 54	R6.4月			△ 54
慢性期							
合計			△ 54				△ 54

※複数年度に渡る削減を予定している場合は各年度に削減(計画)病床数を記載

【参考:R4病床機能報告(山口・防府保健医療圏の状況)】

病床区分		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	合計
報告	①R4(2022)現状	544	1,296	681	932	50	3,503
	②R7(2025)予定	506	1,194	776	876	19	3,371
構想	③R7(2025)必要数	275	974	899	860		3,008
④構想との差(R4)(①-③)		269	322	△ 218	72	50	495
⑤構想との差(R7)(②-③)		231	220	△ 123	16	19	363